

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

カールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分～1時30分

2025年6月18日 第2583回例会 VOL.56 No.36 最終例会（会長・幹事慰労会）

■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	15名
本日の出席率	78.95%	修正出席率	70.00%

■本日の欠席者

日向、草柳、中谷、宋、

■会長報告



北澤 正浩
皆さま、本日はこのように慰労会を催していただき、誠にありがとうございます。

おかげさまで今期の会長職を無事に務め終えることができました。こうして皆さまと笑顔でこの場を迎えられたことを、心よりうれしく、またありがたく思っております。

振り返れば、私はこれまでに二度、会長という大役を仰せつかりました。一度でも貴重な経験であるこの職を、再び任せていただいたことに、改めて深く感謝申し上げます。

正直なところ、順風満帆とはいかず、悩んだこと、思い通りにいかないこともたくさんありましたが、その一つ一つが自分自身を鍛えてく

れました。そして、何よりも、このクラブの皆さまとの時間、活動を通じて得た学びやご縁は、私の人生にとってかけがえのない財産となりました。

来期からは、五十嵐会長、関口幹事の新しい体制がスタートいたします。私も一会員として、微力ながら引き続きクラブのために力を尽くしてまいります。

本日は本当にありがとうございました。



市川幹事
お疲れさまでした。



スマイルキング
の安藤さん。



親愛なる友人の皆さま

2週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリ行き飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：よいことのために手を取りあおう。シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーではより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てください：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっという間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、未長いインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていたのですが、人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

2025-26年度国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレッツォ